

ウサギの導入時の注意事項



子ウサギを初めて迎えて



計画的に繁殖させている学校のウサギ



① 適切な入手方法

- ・市町内の小学校から獣医師を介して導入する。
- ・愛知県獣医師会の里親募集を利用してもらう。
- ・実験動物の販売施設から購入する。

注意する事例

- ・小学校同士での直接の受け渡し。
すでに妊娠していたり、病気を患っている場合があるため、獣医師の診察を受けてから導入しましょう。

望ましくない事例（どうしても導入する必要がある場合は獣医師と相談ください）

- ・捨てられていた動物
- ・生徒や近隣家庭からの引き取り

② 適切な飼育頭数

- ・少ない動物を丁寧に、愛着を持って飼育するのが望ましい
- ・飼育環境の目安としては、4畳あたり2～3頭

③ 健康状態の確認

- ・他のウサギに感染する病気、人に感染する病気等を持っていないかを、近隣の学校飼育動物を診察可能な動物病院（不明の時は獣医師会に相談）で診てもらいましょう。



スナッフ（File. 1-2）を患っているウサギ

④ 確実な雌雄判別

- ・ウサギ導入後に、予定外の出産が見られるケースが少なくありません。（過剰繁殖について File. 1-4）
確実な雌雄判別を行い、オスとメスを分けて飼育しましょう。必要であれば避妊・去勢手術を行いましょう。（ウサギの雌雄判別 File. 1-6）



⑤ 相性の確認

- ・うさぎ同士でケンカやいじめが起こることもよくあります。新しくウサギを導入する時はすぐに同じ部屋に放さず、ケージに入れてしばらく様子を見ましょう。

キーワード：適切飼育・導入方法・雌雄判別